

前長期ビジョン「Grow/Glow Plan25 (GP25)」のまとめ

前長期ビジョン

GP25
1st Stage

「建築資材の総合企業」への第一歩を踏み出す

GP25
2nd Stage

「建築資材の総合企業」に向け成長戦略を加速させる

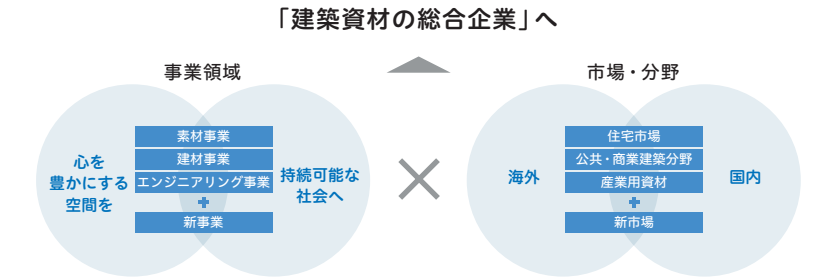
GP25
3rd Stage

成長(Grow)し、輝く(Glow)「建築資材の総合企業」を実現

2016〜2025年度

目指す事業領域と市場・分野

前長期ビジョンでは、既存事業の深耕と拡大、新たな市場への挑戦を通じて「住宅用建材メーカー」から「建築資材の総合企業」へと成長することを、ありたい姿として掲げてきました。



実績

I.成長戦略の実行 (億円)

	GP25 3rd Stage			
	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
売上高	2,288	2,106	2,163	2,085
国内市場	1,641	1,654	1,682	1,628
海外市場	646	453	481	456
営業利益	98	59	77	43
営業利益率	4.3%	2.8%	3.5%	2.1%

II.経営基盤の強化 非財務

	GP25 3rd Stage			
	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
E 温室効果ガス国内外総排出量※1	△4.0%	△15.8%	△27.5%	△19.4%
品質に関する重大事故・違反	0件	0件	0件	0件
S ダイバーシティ総合指数※2	+18.3pt	+25.9pt	+40.7pt	+77.6pt
従業員満足度※3	54.4pt	57.4pt	57.3pt	55.3pt
G 重大コンプライアンス違反	1件	0件	0件	0件

※1：国内外総排出量 (Scope1+2) の2021年度比
※2：女性管理職比率などダイバーシティ関連項目を指数化した当社独自指標。2022年度からの中期経営計画「GP25 3rd Stage」スタートにあたり、「ダイバーシティ総合指数3rd Stage」として算出方法に係る7項目を再設定。2021年度比
※3：従業員のやりがい、職場の働きやすさなどを評価軸とした調査に基づく当社独自指標

2025 年のありたい姿

1

木材などの持続可能な資源を活用した素材の開発・グローバル市場への普及を通じて、循環型社会に貢献する

2

ニューノーマル時代のユーザーニーズを捉えたソリューション提案により、誰もが安全・安心・健康・快適な空間を創出する

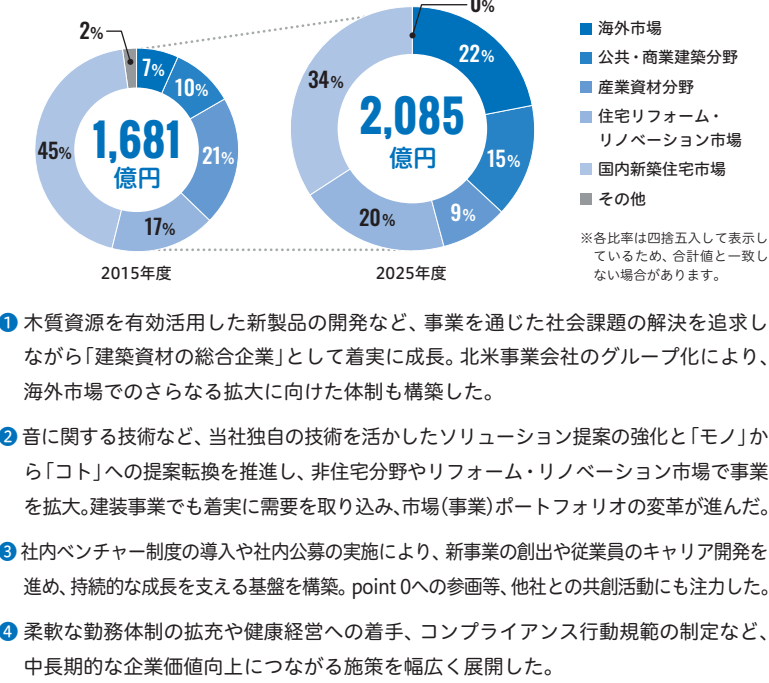
3

挑戦を支える仕組みを確立し、挑戦を称賛する風土が醸成され、新たな事業領域への挑戦が進んでいる

4

多様性のある人材が働きやすく、働きがいのある職場環境を実現するとともに、公正・透明な経営が持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を支えている

10年間の成果



長期ビジョン「TryAngle 2035」

「TryAngle 2035」に込めた想い

“T”ransformation (変革・移行)
“T”eam (いごちの良組織)
“T”hank (感謝)

“R”esource (資源)
“R”egenerative (再生可能)
“R”evolution (革新)

“Y”ield (成果)
“Y”order (未来志向)
“Y”earn (熱望する)

Try 快適向上・サステナブル社会実現に「トライ・挑戦」する

Angle 成長に向けた新たな視点・方向性、右肩上がり

Triangle 三方良し、(楽器のように) 打てば響く

「TryAngle 2035」で目指す姿

『ずっと こちいいね』の実現へ

あらゆる場所で、あらゆる人に『ずっと こちいいね』を提供する企業へ。
DAIKENから社会へ、
いい循環=『Well-Cycle※』を届けます。

※Well-Cycle：
①サステナブルなモノづくりによる資源循環
②ウェルビーイングにつながる五感の快適性
③共感と称賛による良い相互作用
3つの意味を含んだ好循環を総称した当社独自の用語

新長期ビジョン

TryAngle
2035

2026年度〜

私たちが目指す未来

私たちの目標と戦略

私たちの成長基盤

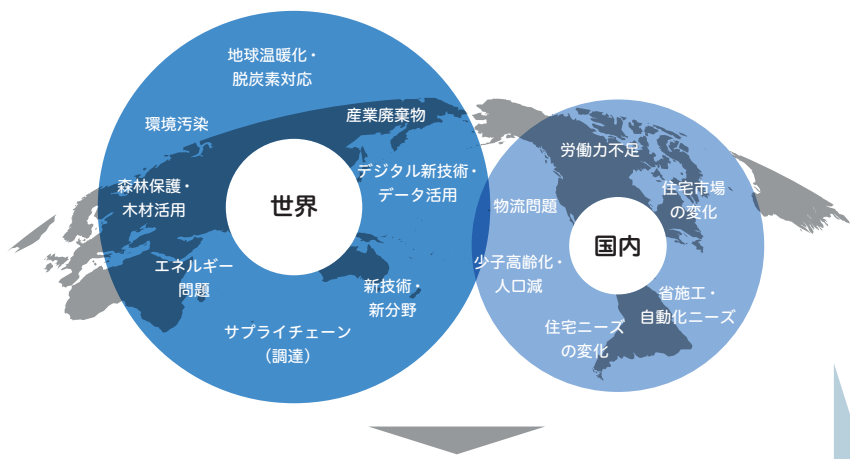
私たちが目指す未来

私たちの目標と戦略

私たちの成長基盤

長期ビジョン「TryAngle 2035」
将来におけるリスク・機会と価値創造施策

次の10年のメガトレンド



リスク	
	新設住宅着工の激減
	物流費の高騰
	業界再編
	経済停滞＋インフレ進行
	天然資源枯渇
	人財獲得競争激化

機会	
	サステナブル社会への貢献につながる商機拡大
	新技術導入による生産性向上
	海外における素材・建材事業拡大
	環境規制を先取りした展開
	社会課題解決による新市場創造
	ウェルビーイングニーズの増加

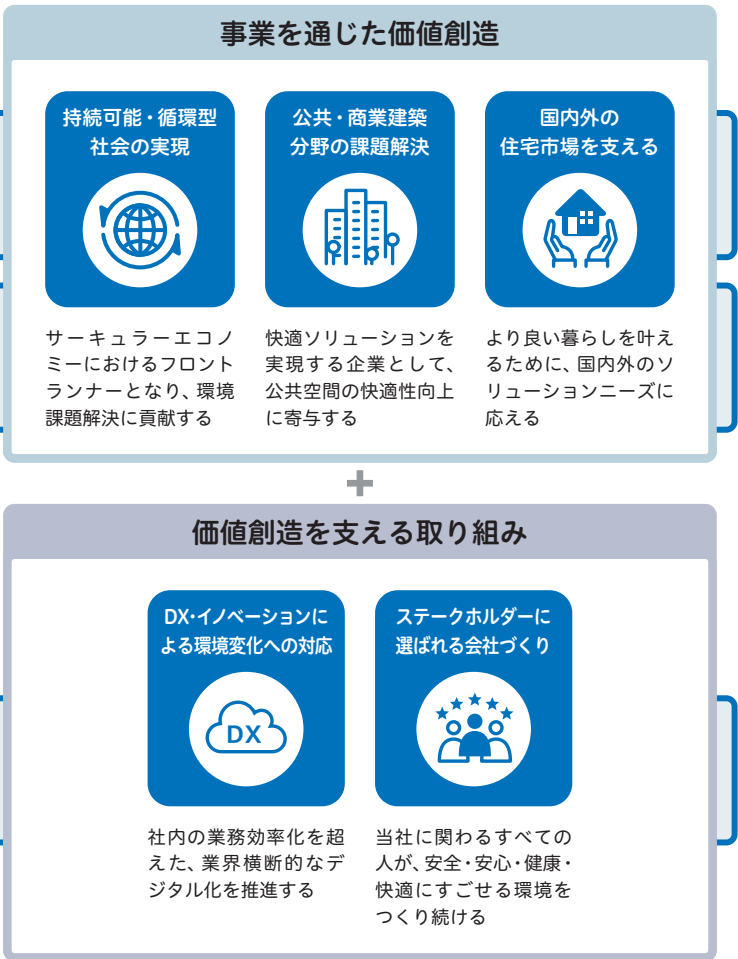
3つのマテリアリティと価値創造施策

マテリアリティ

- サステナブル社会の実現
- 拡大するソリューションニーズへの対応

広く社会で活躍できる人づくり

マテリアリティ解決に向けた価値創造施策

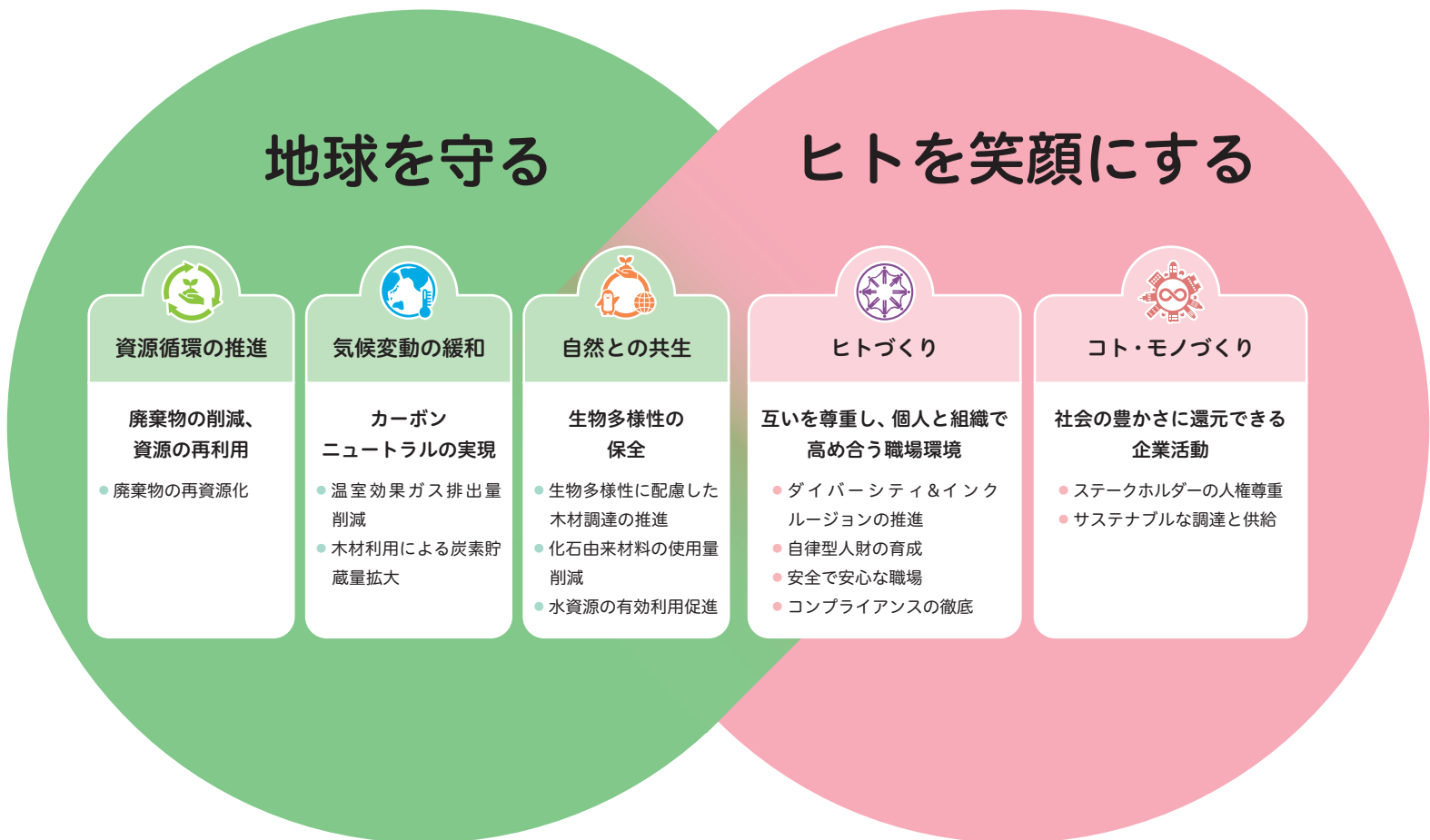


私たちが目指す未来
私たちの目標と戦略
私たちの成長基盤

長期ビジョン「TryAngle 2035」
「DAIKEN サステナビリティ・アクションプラン2035」

2025年、長期ビジョン「TryAngle 2035」の推進ドライバーとして「DAIKEN サステナビリティ・アクションプラン2035」を策定しました。
DAIKEN 地球環境ビジョン2050の推進、および「TryAngle 2035」のマテリアリティであるサステナブル社会の実現（持続可能・循環型社会の実現）や
広く社会で活躍できる人づくり（ステークホルダーに選ばれる会社づくり）に貢献するための成果目標を「環境」と「ヒト」の二軸で設定しています。

サステナビリティ目標



私たちが目指す未来
私たちの目標と戦略
私たちの成長基盤

長期ビジョン「TryAngle 2035」

10年後のDAIKEN

DAIKENグループでは、「TryAngle 2035」に基づき、2035年に向けて3つの視点から将来像を描いています。さらに、幅広い分野のニーズに応えるため、素材・建材・エンジニアリングの3事業を軸に事業領域の拡大を図ります。素材事業の上流には原材料事業を設け、回収や再利用を通じて資源の有効活用を推進。また、エンジニアリング事業の下流には快適ソリューション事業を展開し、空間の快適性に関する顧客課題の解決を目指します。川上から川下まで一貫して提案できる体制を構築し、持続可能な社会と多様な価値創造を実現する企業へと進化していきます。

3つの視点で描く将来像

サステナブル素材において、グローバルに抜きんでの影響力を獲得している

- 創業時から培ってきた「素材」の力を、国内外に広く展開していく
- 安定調達・安定供給の実現により、バリューチェーンから信頼される企業となる

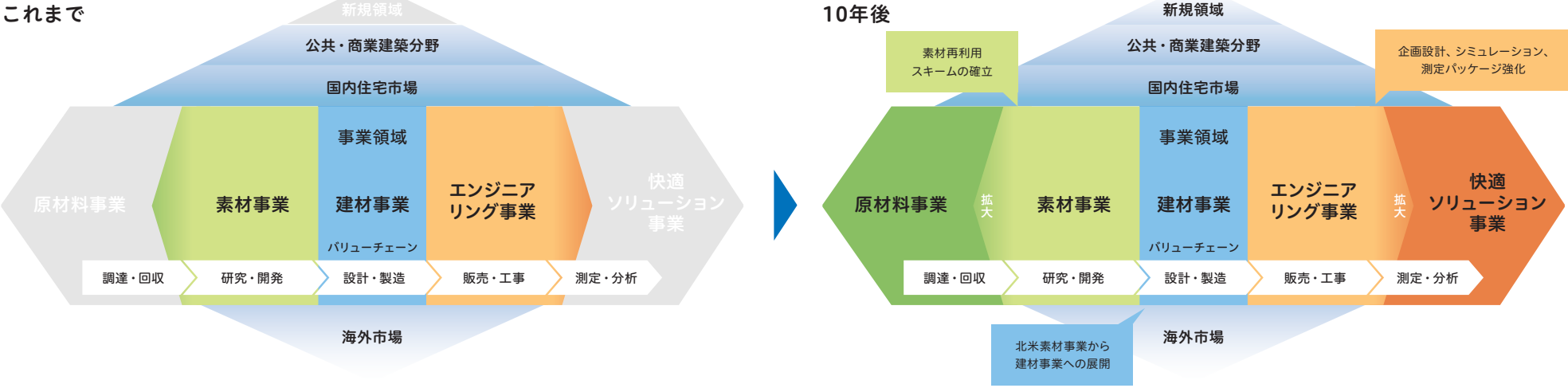
生活空間をアップグレードし、選ばれる「新スタンダード」をつくっている

- 「音・光・温度・湿度・におい」など、五感に訴える価値で生活を支えていく
- 住宅のみならず、公共・商業建築分野においても存在感を示す

社会課題解決に向け、共創を通じてさまざまな新規領域への挑戦・進出が進んでいる

- 社会課題解決のため、積極的な共創に取り組む

10年後の事業領域



長期ビジョン「TryAngle 2035」

市場×事業の成長戦略

10年後の未来を見据え、当社は従来の「素材・建材・エンジニアリング」の3事業を中核としつつ、ビジネスモデルの進化を図ります。事業や組織の垣根を越えた横断的な取り組みを深め、社会の多様なニーズに応え続ける企業へと成長していきます。

		国内		海外
		住宅市場	公共・商業建築分野	海外市場
市場環境		- 国内新築住宅激減（着工数2024年度 約80万戸→2035年度 約65万戸） - 首都圏マンション価格高騰による中古市場活性化 - 政策支援と環境意識に伴う高機能住宅の需要拡大 - 健康・快適性（ウェルビーイング）に対する需要増加 - ライフステージの変化に合わせた空間の可変性と柔軟性	- 都市部の再開発やインバウンドに伴う宿泊施設などの改装需要 - 時間外労働規制や職人の高齢化による、慢性的な人手不足と工期遅延リスク - 脱炭素化に伴う「木質化」の波	- ストック住宅不足を背景とした米国の住宅需要が継続 - 欧米を中心とした森林保護やカーボンニュートラルに向けた規制強化 - 経済成長と人口増加に伴う、インフラ・住宅・商業施設需要の拡大
サステナブル素材領域	原材料事業	未利用材を資源として循環させるサーキュラーエコノミー型スキームの確立		持続可能な森林資源の確保に向けた、海外での植林事業の拡大
	↑領域拡大↑			
	素材事業	住空間の高付加価値化につながる既存素材の用途開拓	- 空間木質化の検討 - 建築廃材回収	- 北米市場における新木質ボード・単板・LVLの製造・販売ネットワークの拡大 - 人口増加が著しいアジア等における、サステナブル素材の新たな生産拠点の検討
快適空間領域	↑			
	建材事業	機能性・意匠性に優れた高付加価値製品の拡販による、シェア拡大	空間の快適性の向上に資する高付加価値製品の市場浸透	- 成長市場の需要を取り込むための、現地に根差した営業・マーケティング体制の強化 - 国内で培った環境技術やノウハウを活かした、高付加価値建材のグローバル展開
	↑			
↑領域拡大↑	エンジニアリング事業	- 単なる施工に留まらない、顧客体験（コト）を重視した新たな空間価値の提供 - リフォーム・リノベーション需要に応える施工体制の構築	- 戦略的パートナーシップや投資を通じた、成長エリアにおける施工体制の拡充 - モジュール化や簡易施工手法の開発による、業界の省人化・生産性向上への貢献	
	↓領域拡大↓			
	快適ソリューション事業	多様化する快適性へのニーズに応えるソリューションの確立	設計・コンサルティング（川上）から音・光・温度などの環境工事（川下）まで、バリューチェーンの拡張による総合力の強化	

点線で囲まれている事業は、今後新たに挑戦していく拡大領域

拡大領域：快適ソリューション事業

快適ソリューションとは、顧客の真のニーズを捉えた、DAIKENの技術と他社との共創の組み合わせによる“こちいい”空間提供「音環境」「建築環境」「空間意匠」「防火・耐火」「木質」の5つのテーマを軸に新たな事業の柱を確立すべく、空間全体の価値を創造する挑戦を続けてまいります。

5つのソリューション



快適ソリューション事業の戦略

これまでの事業やR&Dで培った「技術力」をベースに、社外との共創およびグループ事業会社とのシナジーを掛け合わせることで、材工・設計デザインとともに、エビデンスに裏打ちされた“こちよさ”を、高付加価値なソリューションとして提案していきます。さらに、共創拠点を活用した市場ニーズの収集と概念検証、事業会社と連携したビジネス検証を通じて、新たなビジネスモデルとして事業化を進めていきます。

【基盤】DAIKENが培ってきた技術力・研究開発力

素材 | 建材 | エンジニアリング | 研究開発 (R&D)

他社共創

P.29参照

「point 0 marunouchi」や「terminal 0 HANEDA」など共創拠点を活用した融合ソリューション



事業会社連携・材工提案

事業会社間のシナジーによる、現場への落とし込みとトータル材工提案の推進



高付加価値な快適ソリューションへと増幅

独自の専門性を確立した快適ソリューション

“こちいい”空間を提案する3つの要素

材工

設計デザイン

エビデンス

(測定・シミュレーション・実験データ)

ビジネスの流れ (開発～材工)

研究

コト提案

シミュレーション・測定等

営業・販売

施工



モノ・コトの拡充
マーケティング視点+共創

コト提案→モノ売り・工事
シミュレーション・測定等の活用も加えた空間パッケージ提案

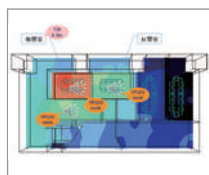
設計・工事領域の拡充
グループ事業会社+共創



音環境ソリューション

建材の単品提供から、ソリューションによる空間全体のコトの提案へ

オフィスの音環境を「見える化」する新サービス『音マップPro』
空間全体のコト提案へ転換すべく、音を可視化・可聴化する『音マップPro』を開発。設計から施工後まで最適な音環境を提供する基盤を構築しました。



01 音の予測・シミュレーション

02 音の現状把握・音響測定

03 音の体感・吸音材レンタル

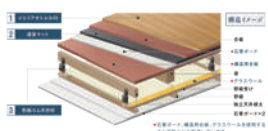
音マップPro

市場に合わせたコトの把握で、より効果的なパッケージ開発へ

集合賃貸市場

音の悩みを安心へ。遮音床構造『MUTECT』で叶える快適な住空間

木造アパートの床衝撃音問題に対し、遮音床構造『MUTECT』をパッケージ提案。複雑な設計を省き、大工工事のみで遮音性能を実現し、施工側と居住者双方の課題を解決します。



『MUTECT』構造イメージ

オフィス市場

企業共創で、置き型音響調節部材『コーナートーン』を開発 ▶ P.44参照
「拡散」と「吸音」でこちいいオフィスの音環境を実現



『RIB TONE (リブトーン)』ヘキサ(六角形)空間イメージ



『コーナートーン』会議室設置イメージ

製品群を拡大しながら、市場を拡大し、お客様のさらなる体験価値の向上へ



木質ソリューション

外装木材や菜園事業の深耕を通して、持続可能な社会の実現へ

遊休地を笑顔あふれる菜園へ。
官民連携で挑むサステナブルな街づくり

当社独自の木質ファイバーを活用した遊休地管理サービスの第一号案件として、国交省事業に採択された千葉市の「登戸2丁目コミュニティガーデン」を2025年6月1日にオープンしました。本菜園では、当社の菜園システム『みんなのエコ菜園』を使用。自治体の管理負担を軽減しつつ、地域住民の方々に栽培体験や交流の場を創出することで、屋外の「こちよさ」向上に取り組んでまいります。



整備前の遊休地



菜園設置後

外装・外構分野での木材利用拡大に向けたビジネス検証をスタート

サステナビリティの観点から外装・外構への木材ニーズが高まる一方、劣化・メンテナンスなどが課題です。当社の木材加工技術を活かし、高耐久外装木材を開発してビジネス検証を開始しました。防草材『Decoマルチ』と本取り組みを軸に、外装・外構分野にもビジネス領域を拡大していきます。



公共施設では地元の地域産材を活用したランドスケープデザインが実現可能



空間意匠ソリューション

他社との共創を展開し、「ソリューション提案力」を磨く

あらゆる空間に「こちいい」価値を。意匠と機能を両立するパッケージ提案

空間意匠ソリューションは、建材の単品提案から一歩進み、空間全体の価値を高める取り組みです。他社共創により意匠性と機能性を両立した“しつらえ”をパッケージ化し、オフィスや宿泊施設をはじめとする公共・商業施設向けにワンストップで提供します。



提供するオフィス空間のイメージ